



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉野 弘一 (TEL) 06-6120-2001
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,201	△0.6	60	△5.5	129	21.8	127	15.0
28年3月期第2四半期	3,219	△2.5	64	—	106	—	111	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年3月期第2四半期	2.06		—					
28年3月期第2四半期	1.79		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,715	2,327	40.7
28年3月期	5,420	2,184	40.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 2,327百万円 28年3月期 2,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	△0.3	80	△5.0	150	13.0	150	△9.9	2.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期2Q	62,280,394株	28年3月期	62,280,394株
29年3月期2Q	113,532株	28年3月期	111,493株
29年3月期2Q	62,168,010株	28年3月期2Q	62,171,067株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算の開示時期において、四半期財務情報に関する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の現実に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)におけるわが国経済は、雇用情勢等の改善が見られたものの、景気に力強さを欠く状況になっております。海外においては、米国経済の拡大基調が続いたものの、中国等での成長鈍化による影響から、景気の先行き不透明感は払拭できない状況にあります。

当業界におきましても、荷動きに鈍化傾向がみられる等、楽観視できない状況にあります。

このような状況の中、当社におきましては、取引採算の確保、経費の削減に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)における当社の業績は、荷動き鈍化の影響を受け、営業収入は伸び悩みました。

貸主都合による本社移転に伴う移転費用の計上があったものの、受取補償金36,000千円の計上がありました。

前年同四半期累計期間で33,631千円計上した投資有価証券売却益は、当第2四半期累計期間においては20,391千円の計上となりました。

この結果、当第2四半期累計期間における営業収入は3,201,054千円で、前年同四半期累計期間と比べ18,785千円(0.6%)の減収となりました。営業利益は60,955千円で、前年同四半期累計期間と比べ3,579千円(5.5%)の減益、経常利益は129,497千円で、前年同四半期累計期間と比べ23,176千円(21.8%)の増益となりました。また、四半期純利益は127,823千円となり、前年同四半期累計期間と比べ16,674千円(15.0%)の増益となりました。

各セグメントの業績の状況は次の通りであります。

①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、中国等での成長鈍化による影響もあり、荷動きに鈍化傾向がみられ、厳しいものがありました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は3,083,659千円で、前年同四半期累計期間と比べ22,759千円(0.7%)の減収となり、全セグメントの96.3%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は247,968千円で、前年同四半期累計期間と比べ5,572千円(2.2%)の減益となりました。

②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、引き続き厳しい状況が続きました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は114,305千円で、前年同四半期累計期間と比べ4,302千円(3.9%)の増収となり、全セグメントの3.6%を占めております。

セグメント損失(営業損失)は21,166千円で、前年同四半期累計期間と比べ4,992千円(前年同四半期累計期間は16,173千円)の減益となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、前年同四半期累計期間と比べ、荷動きの鈍化に伴い、海上保険収入も微減となりました。

この結果、営業収入は3,089千円で、前年同四半期累計期間と比べ328千円(9.6%)の減収となり、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は3,029千円で、前年同四半期累計期間と比べ338千円(10.0%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より266,568千円増加して3,396,563千円となりました。これは現金及び預金の増加202,753千円、営業未収入金の増加27,075千円等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末より29,615千円増加して2,309,943千円となりました。これは投資有価証券の増加40,633千円、のれんの減少13,965千円等によるものであります。

(繰延資産)

当第2四半期会計期間末における繰延資産は、前事業年度末より1,819千円減少して8,711千円となりました。これは社債発行費の減少によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より99,854千円増加して1,558,343千円となりました。1年内返済予定の長期借入金の増加56,080千円、営業未払金の増加27,275千円等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末より52,112千円増加して1,829,671千円となりました。これは長期借入金の増加123,656千円、社債の減少78,400千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前年事業年度末より142,397千円増加して2,327,204千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加のうち四半期純利益による増加分127,823千円、その他有価証券評価差額金の増加14,660千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成28年11月10日に発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」において開示しておりますので、ご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,907,888	2,110,642
受取手形	1,620	3,601
営業未収入金	704,774	731,850
立替金	477,052	485,829
その他	41,110	66,880
貸倒引当金	△2,452	△2,241
流動資産合計	3,129,995	3,396,563
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	155,319	157,727
構築物(純額)	3,071	2,927
機械及び装置(純額)	9,841	7,854
車両運搬具(純額)	72,528	68,759
工具、器具及び備品(純額)	10,444	17,364
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	40,610	42,103
有形固定資産合計	867,999	872,919
無形固定資産		
のれん	307,241	293,275
その他	50,929	39,154
無形固定資産合計	358,170	332,430
投資その他の資産		
投資有価証券	718,226	758,859
差入保証金	118,538	117,101
その他	494,466	499,486
貸倒引当金	△277,072	△270,852
投資その他の資産合計	1,054,157	1,104,594
固定資産合計	2,280,328	2,309,943
繰延資産		
社債発行費	10,530	8,711
繰延資産合計	10,530	8,711
資産合計	5,420,854	5,715,218

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	42,619	40,813
営業未払金	513,245	540,520
短期借入金	45,800	20,600
1年内償還予定の社債	156,800	156,800
1年内返済予定の長期借入金	544,127	600,207
未払金	33,951	42,848
未払法人税等	26,079	32,703
賞与引当金	35,806	38,126
その他	60,060	85,723
流動負債合計	1,458,489	1,558,343
固定負債		
社債	332,000	253,600
長期借入金	1,154,310	1,277,966
退職給付引当金	207,891	219,444
その他	83,357	78,661
固定負債合計	1,777,558	1,829,671
負債合計	3,236,047	3,388,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	52,473
その他資本剰余金	433,446	—
資本剰余金合計	747,751	52,473
利益剰余金		
利益準備金	5,856	—
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△701,133	127,823
利益剰余金合計	△695,277	127,823
自己株式	△11,054	△11,140
株主資本合計	2,435,817	2,563,555
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△251,010	△236,350
評価・換算差額等合計	△251,010	△236,350
純資産合計	2,184,807	2,327,204
負債純資産合計	5,420,854	5,715,218

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業収入	3,219,840	3,201,054
営業原価	2,965,097	2,957,305
営業総利益	254,742	243,748
販売費及び一般管理費	190,208	182,793
営業利益	64,534	60,955
営業外収益		
受取利息	68	16
受取配当金	13,108	13,279
受取家賃	15,249	39,313
受取手数料	11,764	11,654
保険解約返戻金	36,627	—
受取補償金	—	36,000
雑収入	13,027	20,880
営業外収益合計	89,847	121,144
営業外費用		
支払利息	17,205	12,955
支払手数料	19,052	10,860
社債発行費償却	2,015	1,819
賃貸費用	5,964	19,691
雑損失	3,823	7,275
営業外費用合計	48,061	52,601
経常利益	106,320	129,497
特別利益		
固定資産売却益	3,878	4,538
投資有価証券売却益	33,631	20,391
特別利益合計	37,510	24,929
特別損失		
固定資産売却損	—	30
固定資産除却損	540	1,089
投資有価証券売却損	2,562	—
投資有価証券評価損	7,095	—
特別損失合計	10,198	1,119
税引前四半期純利益	133,632	153,307
法人税、住民税及び事業税	22,484	25,484
法人税等合計	22,484	25,484
四半期純利益	111,148	127,823

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年6月24日開催の定時株主総会において、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の額を減少させ同額をその他資本剰余金に振り替えるとともに、会社法第452条の規定に基づき、当該振替後のその他資本剰余金の全額を処分して、繰越利益剰余金の欠損を補填することを決議いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間において、資本剰余金は695,277千円減少し、利益剰余金は同額増加しております。